

数学Ⅱ 学習指導案					
学 級	5年3・4組(後期課程)	教室	414教室	指導者	
単 元	第5章 指数関数と対数関数		教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ	
指導目標	1 対数を指数関数を用いて定義し、その基本性質を理解させる。 2 対数関数を指数関数と対比させながら、その諸性質を理解させる。		指導計画	1 指数の拡張・・・・・・・・・・3時間 2 指数関数・・・・・・・・・・2時間 3 対数とその性質・・・・・・・・3時間 4 対数関数・・・・・・・・・・2時間 (本時はその2時間目) 5 常用対数・・・・・・・・・・2時間	
本時の指導過程	主題	対数関数を含む方程式・不等式			
	目標	1 方程式、不等式は真数条件のもとで解くということを徹底させる。 2 対数関数を含む方程式や不等式の基礎を定着させ、さらに大学入試問題レベルの問題にも意欲的に取り組む姿勢を育む。			
	課題	学習プリントを解き、提出する。			
	学習内容		時間	指導上の留意点	資料・評価の観点等
	導入	1 課題の解答を確認する。	5	・前時の課題を板書させ、確認させる。	・本時の授業の準備ができています。 ＜関心・意欲・態度＞
	展開	1 対数方程式の解法の確認をする。 2 指数や対数の性質を確認させ、方程式に応用する。 (1) 指数法則を利用して解く。 (2) 底の変換公式を利用して解く。 (3) 指数と対数の関係を利用して解く。 3 応用問題に取り組む。	10 20 10	・前時までの学習内容を整理させる。 ・式が変化した場合でも、既習内容を確認することで、解法を見つけさせる。 ・自主的に取り組ませることで、解くことへの意欲を高め、達成感を感じさせる。 ・今までの授業との繋がりを確認させる。	・既習内容を理解している。 ＜知識・理解＞ ・対数の性質を見極め、利用できている。 ＜数学的な見方・考え方＞ ・積極的に問題に対して向き合っている。 ＜関心・意欲・態度＞ ・指数・対数の関係性が理解できている。 ＜知識・理解＞
整理	1 本時のまとめと次時の内容を確認する。	5	・自分の理解度を確認させながら、積極的に取り組ませる。	・応用問題に対しても意欲的に取り組む姿勢が見られる。 ＜関心・意欲・態度＞ ・本時の内容を踏まえ、今後の自分の取組を考えさせる。 ・次時の内容に興味を抱いている。 ＜関心・意欲・態度＞	
備考	理型 生徒数 40名(男子 21名, 女子 19名)				